

令和7年4月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和7年4月22日(火)		
2 開会及び閉会	開 会	13時30分	
	閉 会	14時30分	
3 出席委員	教 育 長	三 宅 泰 司	
	委 員	上 西 芳 樹	
	委 員	片 山 美 香	
	委 員	門 原 眞 佐 子	
	委 員	中 島 俊 子	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	竹 林 靖 哲	教育次長	齋 藤 靖
次長(教育総務部長兼務)	重 河 啓 子	学校教育部長	竹 中 茂 樹
生涯学習部長	岡 本 浩 司	参事(教育企画総務課長事務取扱)	山 邊 真 由 美
教育企画総務課 企画調整担当課長	佐 藤 美 穂	参事(教育給与課長事務取扱)	若 狭 暢 宏
保健体育課長	松 岡 恭 一 郎	岡山っ子育て成局子育て支援部 地域子育て支援課副主査	森 下 賢
事務局 (教育企画総務課主任)	難 波 実 佑		
5 議題及び結果			
報告第13号	＜専決処理の報告＞ 岡山市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について		承認
報告第14号	＜専決処理の報告＞ 岡山市立の小学校、中学校及び義務教育学校の教育職員の給与等に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について		承認
第13号議案	第3期岡山市教育振興基本計画 令和7年度アクションプランの決定について		原案可決

6 教育長等の報告 [令和7年3月1日(土)～令和7年3月31日(月)]		
3/22～3/23	岡山市子ども会ジュニアリーダー研修会	地域子育て支援課
3/26～3/27	岡山市子ども会インリーダー研修会	地域子育て支援課
3/30	岡山市ジュニアオーケストラ第25回スプリングコンサート・卒 団式	地域子育て支援課
7 議事の概要		
教育長	○ ただいまから4月岡山市教育委員会定例会を開会する。 本日、傍聴希望者が1名いる。入室してもらってよろしいか。	
全委員 教育長	○ 〈承認〉 ○ それでは、入室をお願いします。 日程第1、会期について、本日1日限りとしてよろしいか。	
全委員 教育長	○ 〈承認〉 ○ 日程第2、こちらに3月定例会の議事録があるので、順次ご覧いただき、 問題がなければ署名をお願いします。 日程第3、次に事業報告をご覧になって何か質問があればお願いします。	
上西委員	○ 子ども会の研修会関連で研修が2件あったようだが、参加者数は、例年と 比べてどうだったのか教えていただきたい。	
岡山っ子育成局 地域子育て支援 課副主査 上西委員	○ 昨年度の参加人数に対して、両方とも10名ほど多くなっているというよ うな状況である。やはり子どもたちが自然での体験学習に少しずつ興味を持 ってきているということ、研修会を通して思った。	
岡山っ子育成局 地域子育て支援 課副主査 教育長 片山委員	○ 参加者数が増えた理由は何か。広報が利いたとか。 ○ 子ども会の活動がコロナ禍明けでだんだん元に戻りつつあるということが 影響していると思う。広報の仕方は大きくは変えていない。	
岡山っ子育成局 地域子育て支援 課副主査	○ 以前に比べて、子ども会活動が活発になってきているということであるな。 ○ それに関連して、地域によってその参加に偏りはなく、市内のいろいろな 子ども会の地区から参加されている状況なのか教えてほしい。	
片山委員 教育長 門原委員	○ 岡山市こども会育成連絡協議会という組織は私たちのほうも人数として団 体数を追えたりできるけれども、やはり町内会ごとにそれぞれの子ども会数 は減ってはきている。しかし、ここに参加をしていただいた方の約半数は、 子ども会に所属している方たちであり、残り半数は、子ども会には入ってい ないが自然体験を求めて来ている方であった。	
岡山っ子育成局 地域子育て支援 課副主査	○ よく広報されて、いろいろな方が参加されたのですね。 ○ ほかは、よろしいか。 ○ このジュニアリーダーとインリーダーの違いは何か。対象が違うのか、も う少し詳しく教えてほしい。	
門原委員 岡山っ子育成局 地域子育て支援 課副主査 中島委員	○ ジュニアリーダーというのが中学1年生から高校3年生までを指してい る。インリーダーというのが小学校6年生を指すので、インリーダー研修会 は5年生を対象に応募をして、来年6年生になる子たちに参加を呼び掛ける というようなイメージである。ジュニアリーダー研修会は、小学校6年生か ら中学校2年生までに資料を配付しているが、中学校1年生から高校3年生 までを対象とした研修会となっている。研修の内容は、キャンプや野外炊事 などで、両者に大きな違いはない。 ○ 継続して入っていられる方もおられるのか。 ○ そうである。 ○ 私も地域の町内会などで子ども会のお世話をしたことがあるが、今聞いて えっと思ったんだけど、子ども会は、中高生のような年齢でも入るのか。	

岡山っ子育成局 地域子育て支援 課副主査	○ 高校生までが入るわけではない。基本的には小学校6年生までが対象だが、各子ども会では、クリスマス会や6年生を送る会などイベントが開かれており、中学生から高校生までのジュニアリーダーと呼ばれる方々がそれぞれの地区の子ども会に行ってお手伝いをするというような活動を取っている。
中島委員	○ では、その中学生は、もともと小学生のとき子ども会に入っていたOBとかOGということであるか。
岡山っ子育成局 地域子育て支援 課副主査	○ そうである。
教育長 全委員 教育長	○ ほか、よろしいか。 ○ 〈なし〉 ○ それでは次に、議事に入る前に、会議の公開、非公開について諮る。 日程第4の報告第15号及び日程第5の第12号議案は、任免、賞罰等、職員の身分取扱い、その他人事に関する事項に該当する。そのため、岡山市教育委員会会議規則第7条第1項第1号に基づき、これらを非公開にしたいと思うが、委員の皆様方、いかがか。よろしいか。
全委員 教育長	○ 〈承認〉 ○ それでは、日程第4の報告第15号及び第12号議案までを非公開と決定する。その際には傍聴人の方には退席をしていただく。よろしく願います。 それでは、引き続き、日程第4、報告第13号を保健体育課から報告願う。
保健体育課長	○ 報告第13号岡山市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について、専決処理を行ったのでご報告する。 提案理由であるが、教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため、令和7年3月17日に専決処理を行ったものである。 本規則では、児童・生徒及び教職員等の児童・生徒等と同様に学校給食の提供を受ける者に関する学校給食費の1食単価を定めている。そのため、毎年度の当初に学校給食費の1食単価に変動がある場合には1食単価の改定を行うため、規則の一部改正を行うこととしている。この度、令和7年度の1食単価に改定するため、規則の一部改正を行ったものである。 まず、改正前規則の附則第3項、「児童・生徒の燃料費等その他経費につきましては、令和6年度に限り免除する」と記載していた部分を削除させていただいた。令和7年度以降は、児童・生徒についてはこれまで保護者負担としてきた燃料費等その他経費を公費負担、一般財源での支出を行うためである。 なお、この規則において、「児童」は小学生のことを指しており、「児童と同様に学校給食を受ける者」は、小学校の教職員等を指す。また、「生徒」とあるのは、中学生を指し、同じく同様にといったところは中学校の教職員等のことをいう。 現行において児童及び生徒の食材費及び合計額と児童・生徒と同様の学校給食を受ける者の額が大きく乖離しており、また現行から改正後の額が下がっているのは、昨年度の令和6年度は物価高騰の影響が著しく、給食費の1食単価を年度途中で上げざるを得ない状況となった。ただし、児童・生徒については国の臨時交付金を活用させていただいて、1食単価を設定している。一方で、児童・生徒と同様に学校給食を受ける者、つまり教職員等については、令和7年1月分の学校給食費から物価高騰の影響による食材費の価格の上振れ分を昨年令和6年12月に本規則の一部を改正し、徴収をしている。この改正によって額の乖離が生じているものとなる。 改正した規則の施行期日であるが、令和7年度の学校給食1食単価を定めるもののため、令和7年4月1日からにしている。 なお、経過措置として記載しているが、児童・生徒の1食単価については、

<p>教育長</p> <p>全委員 教育長 全委員 教育長</p> <p>参事（教育給与課 長事務取扱）</p>	<p>令和7年度も引き続き物価高騰の影響を受けることが見込まれることから、国の臨時交付金を活用させていただいて支援を行い、児童の1食単価を330円から322円へ、また生徒の1食単価を397円から380円と経過措置による負担軽減を図らせていただく。</p> <p>○ 質問、ご意見があればお願いします。 よろしいか。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、報告第13号を承認してよろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、報告第13号を承認する。 続いて、報告第14号を教育給与課からお願いします。</p> <p>○ 報告第14号専決処理の報告についてご説明申し上げます。 岡山市立の小学校、中学校及び義務教育学校の教育職員の給与等に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について、この4月に開設した夜間中学を担当する教育職員に対し支給する夜間学級教育業務手当、こちらについて手当を支給するために必要な事項を規定するため、同規則の一部を改正する必要が生じたが、教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため、岡山市教育委員会事務処理権限規則第6条の規定により、令和7年3月31日に専決処理したので、ご報告のほうをさせていただく。ご承認のほどよろしくお願いします。 説明は以上である。</p>
<p>教育長 上西委員</p> <p>参事（教育給与課 長事務取扱）</p> <p>教育長 全委員 教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ 質問やご意見はあるか。</p> <p>○ 対象の方が何名おられるかと、あとその対象の方々の勤務形態、何時から何時ぐらいの勤務になるのかを教えてください。</p> <p>○ 対象は、6名である。その方々の勤務は、13時から21時45分である。</p> <p>○ ほか、よろしいか。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ はい。報告第14号を承認してよろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、報告第14号を承認する。 これより非公開の審議を行うので、関係者以外は一旦退席を願う。非公開案件の審議が終わり次第、公開案件の日程第5、第13号議案の審議に移るので、第13号議案の傍聴を希望される方はお呼びするまで廊下でお待ちいただく。</p> <p>&lt;非公開案件の審議終了後&gt;</p>
<p>教育長 教育企画総務課 企画調整担当課 長</p>	<p>○ 日程第5の第13号議案について、教育企画総務課から説明願う。</p> <p>○ 本日は、令和7年度アクションプランの大まかなづくり、重点取組であるクローズアップを中心に説明させていただく。 まずは、1、岡山市が目指す教育。こちらについては、昨年度からの変更はない。 2、岡山市教育振興基本計画アクションプランについて。アクションプラン策定の根拠法令と位置づけ、事務局の事務の点検評価を含めた教育行政のPDCAサイクルをお示ししている。 続いて、令和7年度の取組の方向性について。このページは主に来年度の重点取組、クローズアップの内容になるが、これについて、教育に関する総合調査や総合教育会議での議論の結果を踏まえた取組の方向性をまとめている。 続いて、主な事業、(1)クローズアップである。来年度、教育委員会事務</p>

局の各部、各課で展開される事業は全部で78事業、教育振興基本計画は6つの政策、さらに13の施策を立てており、78の事業は13の施策に分類されている。総合教育会議や教育委員会の協議などを踏まえ、78の事業からピックアップしたものを重点取組、クローズアップとして再構成している。

まずは、このクローズアップのつくりについて、今全体構成を見ていただいているが、2つの柱に分けてお示ししている。柱1は、やる気につながる好奇心の醸成、柱2は持続的な教育の好循環の創出である。

まず、柱1について、令和7年度の取組の方向性を踏まえ、黄色い学校園の歯車の取組に2つの視点を置いている。1つ目は、子どもが一步踏み出せるようにするために、やってみようを育む授業づくりの推進という視点を、子ども自身の考える力や表現する力を身につけることを進める授業、これらを中心に位置づけている。そして、子どもが一步踏み出すためには、様々な経験を積み重ねることによる自信や自己調整力などとともに、安心して挑戦できる環境づくり、人間関係づくりも含めてであるが、それらが大切であることから、2つ目の視点として安心してやってみようと思える人間関係づくりのための支援を置き、関係する事業を位置づけている。事務局としては、特にこれらの視点を意識し、学校が教育活動の中で一体的に進めていけるよう支援していきたいと考えている。さらに、地域社会、家庭のそれぞれの歯車には、柱1のスローガンとなっている子どものやる気を刺激するために、特に子どもの参加できる体験活動を含む事業や、保護者に事務局の取組をご理解いただき、協力したり参加していただけるような事業を中心に位置づけている。事業名の前に黒塗りの星印がついているのは新規事業、二重丸の印は拡充事業となる。

続いて、柱2の構成である。教育を取り巻く環境に関わるソフト面、ハード面の充実を一体的に進めることで、持続的な教育の好循環の創出を狙うのが柱2である。4つの視点で整理している。昨年度との違いは、学校園環境の充実というくくり、資料、イラストで言うと上半分の少し濃い緑色のピースである。その中に子どもの学習環境の改善、充実という視点と学校における働き方改革に資する教職員のサポート体制の充実という視点を入れて整理しているところである。また、多様な人材の確保、育成というくくり、資料で言うと下半分の少し薄い緑のピースである。これについては、昨年度は人材確保と育成を別々にまとめていたが、今年度はくくり、特に若手教員の資質向上に向けた取組を進めてまいり。それぞれのピースに位置づけている事業は、柱1と同様に、黒い星の印が新規事業、二重丸の印が拡充事業となる。

続いて、(2)事業一覧である。こちらは政策1から政策6まで、合わせて13の施策に分類された合計78事業の一覧のページであり、事業内容の見方になる。特にクローズアップに関係するところについては下線を引いているので、参考にご覧いただきたい。

その後、78事業の全ての内容を順次掲載している。政策順に掲載している。

続いて、事業の指標と目標値の一覧になる。全ての事業について、指標、目標値についての見直しを図って掲載させていただいている。

最後に、参考までに第3期教育振興基本計画における政策の評価指標の一覧と第2期教育大綱の評価指標等を掲載しているページになる。今年度は計画の最終年度、まとめの年となる。目的が達成できるよう、それぞれの事業とも計画に沿って事業展開してまいりたいと考えている。

- この件について何かご質問、ご意見等があればお願いします。
- 学校園へ周知されるまでのロードマップを教えてください。ここで承認されて、この後どのようにして学校園にはいつ頃周知できるのか。
- 今後のスケジュールを申し上げる。

まず、本日審議いただいて議決されたら、まずは5月7日に議会へ報告さ

教育長  
門原委員

教育企画総務課  
企画調整担当課

<p>長</p> <p>門原委員</p> <p>教育企画総務課 企画調整担当課 長</p> <p>教育長 片山委員</p> <p>教育企画総務課 企画調整担当課 長</p> <p>教育長</p> <p>全委員 教育長 全委員 教育長</p>	<p>せていただこうと思っている。その後、1週間ほど体裁等を整える時間をいただいで、ホームページで公表したいと思う。校長会にも行かせていただいで、クローズアップ等についてはすでに4月の第1回校長会でも簡単に説明していただいでいるが、もう一度説明に回ろうと考えている。そのため、5月中、6月上旬ぐらいまでには各学校にもお届けするというスケジュールを考えている。</p> <p>○ ホームページにも6月中旬にはアップして、皆さんに周知できるような予定であるか。</p> <p>○ ホームページへの掲載は5月中旬頃を予定している。学校園の先生方への説明は各研修で随時いろいろな立場の方に説明してまいるので、6月頃までかかると思うが、資料自体は5月中に学校にお届けできると思う。</p> <p>○ ほか、ご質問、ご意見等あればお願いします。</p> <p>○ 2ページの、岡山市の教育行政サイクルという部分に「令和8年度実施中の取組の改善」と書かれている箇所があるが、この実施中の取組というのはどういうふうに見たらよいのか。</p> <p>○ これについては、今年度、これからいよいよ取り組むのだが、昨年度の事務の点検評価を随時やっていく。夏までには外部評価委員の方々に評価書をつくっていただいで、それに関する情報交換会を行う予定である。そこでご指摘があった内容については、次年度を待たずして本年度後期に反映できるものは反映するという意味である。ただ予算等が関係するものについては次年度ということになるので、その次の年のプランに反映させていくという意味でこちらに書いている。</p> <p>○ ほか、ご意見、ご質問等あればお願いします。 よろしいか。</p> <p>○ 〈なし〉</p> <p>○ それでは、第13号議案を原案どおり可決してよろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ はい。第13号議案を原案どおり可決する。 以上で本日予定していた議案の審議は全て終了した。 以上をもって令和7年4月教育委員会定例会を閉会する。</p>				
<p>傍聴の状況</p>					
<p>報 一</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="422 1424 1037 1478">道</td> <td data-bbox="1040 1424 1473 1478">1名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="422 1482 1037 1527">般</td> <td data-bbox="1040 1482 1473 1527">0名</td> </tr> </table>	道	1名	般	0名
道	1名				
般	0名				

令和7年4月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	令和7年4月22日（火）		
2 開会及び閉会	開会	13時43分	
	閉会	14時00分	
3 出席委員	教育長	三宅泰司	
	委員	上西芳樹	
	委員	片山美香	
	委員	門原眞佐子	
	委員	中島俊子	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	竹林靖哲	教育次長	齋藤靖
次長（教育総務部長兼務）	重河啓子	学校教育部長	竹中茂樹
生涯学習部長	岡本浩司	参事（教育企画総務課長事務取扱）	山邊真由美
教職員課長	高井紀行		
5 議題及び結果			
報告第15号 第12号議案	＜専決処理の報告＞岡山市立学校教職員の人事について 岡山市立学校教職員の人事について		承認 原案可決